

テーマ：キリストによって新しくされた者は罪に対してどのように応答して生きていくのか？

※創世記 4:3-5

「ある時期になって、カインは、地の作物から主へのささげ物を持って来たが、アベルもまた彼の羊の初子の中から、それも最上のものを持って来た。主はアベルとそのささげ物とに目を留められた。だが、カインとそのささげ物には目を留められなかった。それで、カインはひどく_____、顔を伏せた。」

※1 サムエル記 18:7-8

「女たちは、笑いながら、くり返してこう歌った。「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った。」サウルは、このことばを聞いて、非常に_____、不満に思って言った。「ダビデには万を当て、私には千を当てた。彼にないのは王位だけだ。」「」

※マタイ 2:16

「その後、ヘロデは、博士たちにだまされたことがわかると、非常に_____、人をやって、ベツレヘムとその近辺の二歳以下の男の子をひとり残らず殺させた。」

「怒りは普遍的な問題であり、あらゆる文化に蔓延し、あらゆる世代が経験します。この存在から隔離されていたり、その毒から免れている者は一人もいません。それは一人一人に浸透し、私たちの最も親密な関係を台無しにします。怒りは墮落した人間の構造の一部なのです。悲しいことに、これは私たちのクリスチャンの家庭や教会においても当てはまりません。」(ロバート・ジョーンズ)

○脱ぎ捨てるべき古い人：新しくされた者の罪に対する応答

1. 自分自身の罪を殺してしまうこと(5-7)
2. 人に対する罪を_____ (8-11)

●信仰者が捨ててしまうべき六つの罪：

a) _____

b) _____

「怒りと憤りは密接に関係しています。多くの場合、表面下に潜んでいる、煮えたぎるような怒りが、憤りの爆発を引き起こすのです。」(ジョン・マッカーサー)

※箴言 29:11

「愚かな者は怒りをぶちまける。しかし知恵のある者はそれを内におさめる。」

※ヤコブ 1:19-20

「…だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。人の怒りは、神の義を実現するものではありません。」

※ヤコブ 4:1-2

「何が原因で、あなたがたの間に戦いや争いがあるのでしょうか。あなたがたのからだの中で戦う欲望が原因ではありませんか。あなたがたは、ほしがっても自分のものにならないと、人殺しをするのです。うらやんでも手に入れることができないと、争ったり、戦ったりするのです。あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからです。」

「怒りは、罪が犯されたときに降りかかってくるものではありません。怒りはすでに私たちの内に存在しています。その初期の状態を、欲望と呼んだりもします。私たちは権力、快楽、平和、安らぎ、愛、尊敬などを欲しています。そして時に、その欲求と私たちとの間に何か立ちはだかるわけです。すると私たちは何かを欲しているにも関わらず、それを手にすることができません。すると内に怒りを覚えるのです。それを引き出すには、ただちようど良い機会が求められるだけなのです。」(エドワード・ウェルチ)

c) _____

「悪意とは、他者が苦しんだり、痛みや傷、苦悩を味わうのを見たいという、しばしば説明のつかない根深い願望を意味している。」

※エペソ 4:31

「無慈悲、憤り、怒り、叫び、そしりなどを、いっさいの悪意とともに、みな捨て去りなさい。」

d) _____

e) _____

※箴言 18:8

「陰口をたたく者のことばはおいしい食べ物ようだ。腹の奥に下っていく。」

※ヤコブ 3:9-10

「私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にかたどって造られた人をのろいます。賛美とのろいと同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あってはなりません。」

f) _____

※マタイ 12:34-35

「…心に満ちていることを口が話すのです。良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです。」

※ヤコブ 1:26

「自分は宗教に熱心であると思っても、自分の舌にくつわをかけず、自分の心を欺いているなら、そのような人の宗教はむなしいものです。」

●二つの理由：

1) 私たちが既に _____ から(9b-10)

※2 コリント 5:17

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

※1 ペテロ 2:2

「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。」

2) 私たちがキリストにあって _____ から(11)

※ガラテヤ 3:26

「ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。」

※1 コリント 12:20-21

「しかしこういうわけで、器官は多くありますが、からだは一つなのです。そこで、目が手に向かって、「私はあなたを必要としない」と言うことはできないし、頭が足に向かって、「私はあなたを必要としない」と言うこともできません。」